

令和6年12月13日（金曜日）

新市立高等学校設置特別委員会

議会会議室

出席委員

竹中隆一、蔭山敏明、白井義一、西本眞造、
山口 悟、石堂大輔、萩原唯典、大西陽介、
妻鹿幸二、牧野圭輔、金内義和、谷川真由美

開会

9時57分

教育委員会

9時57分

報告事項説明

- ・新市立高等学校の開校に向けた取組について

質問

10時02分

（質問）

統合新設校の校歌について、作詞に係るワークショップを2回開催したとのことだが、今後も開催するのか。

（答弁）

作詞を担当する新井鷗子氏によると、このたびの2回の開催によりイメージが湧いたとのこと、今後のワークショップ開催は考えていない。

校歌の歌詞については、令和6年度中に制作したいと考えており、次からは作曲のスケジュールに進みたいと考えている。

（質問）

ワークショップでは、歌詞に組み込みたいフレーズや言葉として生徒からどのような意見があったのか。

（答弁）

参加した生徒からは「友人の存在」や「高校の青春」、「風」や「青い空」といった言葉が出ていた。また、新井氏からは市立3校の要素が入ったものにしたいとの意見を聞いている。

（質問）

新井鷗子氏に作詞を、池辺晋一郎氏に作曲を依頼した経緯について説明してもらいたい。

（答弁）

高校の校歌は吹奏楽部で演奏されることもあり、小中学校以上にオーケストレーションの面で複雑であることや、姫路にゆかりのある人に任せたいという声があったことから作曲を池辺氏に依頼した。

また、作詞に当たっては生徒の意見やイメージを取り入れたいという教育長の希望もあったことから、姫

路市文化国際交流財団と相談した上で池辺氏とのつながりもある新井氏に作詞を依頼した。

（質問）

同氏らの選任について、教育委員にはいつ説明したのか。

（答弁）

教育委員には懇談の場等で随時報告を行っており、正式には令和6年11月27日の定例教育委員会で報告する中で説明した。

（質問）

作詞作曲にかかる費用は幾らぐらいなのか。

（答弁）

池辺氏や新井氏の個人的な価値に関わるため、金額については答弁を差し控えたい。

（質問）

作詞作曲に係る費用は公金から支出されることから、きちんと答弁すべきではないのか。

（答弁）

校歌は現在作成中であるため、決算での報告としたい。

（質問）

作詞作曲にかかる費用はどの予算費目に組み込まれているのか。

（答弁）

費目も含め、決算での報告としたい。

（質問）

校歌の制作過程等を語り継がれるようにしてもらいたいだろうか。

（答弁）

これまでの記録やワークショップの写真は残しており、インスタグラムなどに掲載したいと考えている。

また、開校時に制作過程を発表できるように工夫したい。

（質問）

統合新設校の開校式で完成後の校歌を発表することだが、開校式はいつ頃を予定しているのか。

（答弁）

正式決定ではないが、入学式と同日にしたいと考えている。

（質問）

統合新設校の学級数は令和7年度に公表するとのこと

とだが、県との協議など、現時点での進捗状況はどうなっているのか。

(答弁)

統合新設校の学級数は教職員定数や具体的な教育課程を決定する上で重要であるため、県の関係課との協議を重ねているところである。

統合新設校の学級数や教育課程については、できれば例年10月頃に行われる県全体の学級数の公表よりも早く公表し、どのような学校なのかを示したいと思っている。

(要望)

子どもたちの進路選択に関わることなので、できるだけ早く公表してもらいたい。

(質問)

旧中央卸売市場跡地の土地取得の状況について説明してもらいたい。

(答弁)

令和6年度予算については全て年度内に執行したいと考えているが、現在決裁中のものも含まれるため、件数等の回答は差し控えたい。

(質問)

取得しようとしている土地を全て取得しないと新校舎建設の議論が始まらないとすると、着工や開校の時期が全く明らかになってこないが、それらの時期についてはどのように決定しようと考えているのか。

(答弁)

開校時期を示すためにはしっかりとした情報発信が必要であることから、令和7年度に学校の中身を含めた具体的な計画を立てるための予算を要求しており、計画を策定する中で決定していきたいと考えている。

(要望)

着工時期や開校の時期が分からないと市民や生徒の保護者にとって不安であると思われるため、説明責任をしっかりと果たしてもらいたい。

(質問)

資材費や人件費が高騰しているが、国の補助金や交付金の利用も含め、建設費についてどのように考えているのか。

(答弁)

物価高騰の状況にあることは認識しており、国の交

付金や補助金について事前相談を行っている。今後ともしっかりと研究し、計画の中で説明したい。

(要望)

高等学校の運営は市の単独事業となり、市立3校では年間約2億円の維持管理費を要していることから、設計の段階で建設後の維持管理費が抑えられるよう慎重に検討してもらいたい。

(質問)

令和7年度予算として、土地の取得に関して幾ら要求しようと考えているのか。

(答弁)

必要な土地のうち、取得できていない部分全てを取得できるよう、予算要求したいと考えている。

(質問)

土地を譲渡した所有者は譲渡所得の特別控除を受けられるのか。

(答弁)

特別控除が受けられるよう、税務署と協議済みである。

(質問)

土地収用法に基づく事業認定を経なくても特別控除を受けられるのか。

(答弁)

そのとおりである。

(質問)

税務署に対して、学校用地として必要な土地であるという根拠を示す必要があるのではないのか。

(答弁)

校地の範囲を示した図面の提出は必要であるが、その範囲が学校用地として適当かどうかまでを税務署が判断するものではないと認識している。

(質問)

資料の中で「(仮称) 姫路市立高等学校」とあるが、校名は正式決定ではないのか。

(答弁)

統合新設校設置の際に姫路市立学校条例の改正議案を提出予定であり、可決されれば正式名称となる。

(質問)

校名案について、公募を行った後にどのような議論を行ったのか。

また、校章についてはどのように決定しようと考え

ているのか。

(答弁)

公募結果は、姫路という言葉が使われているものやシンプルな案が多かった。それを基に教育委員会や学校の教員が何度も議論し、校名案を決定した。

この校名案に基づき、統合新設校の校章も公募し、決定したいと考えている。

(質問)

中学校の教員は統合新設校の受検を検討している生徒に対して、何を目安に進路指導を行うのか。

(答弁)

教員は発表される教育課程から、大学受験の対応などの方針を確認することができる。

(質問)

令和7年度に開校する県立姫路海稜高校の受検を検討している生徒に対してはどのように進路指導を行っているのか。

(答弁)

姫路海稜高校は中学校の教員向けの説明会を行い、求める生徒像などを伝えていることから、教員はそれを基に進路指導しているものと考えている。

(質問)

統合新設校は一律の選考基準で可否を決めるのか。それとも学科が分かれていて選考基準も異なるのか。

(答弁)

統合新設校では単位制を導入し、生徒それぞれがカリキュラムを選択できる。コースや学科を入学時に設定するのではなく、1年次は主に共通する必修科目を学習し、2年生に向けた自己探求を行い、2年次からはそれぞれが選択した教科を学習する。

(質問)

制服はジャケットのみを定めるとのことであるが、デザインは男女共通なのか。

(答弁)

ジェンダーレスの観点を重視しており、基本的には共通としたいと考えているが、男女の体格差を考慮したデザインとする可能性もある。今後詳細を検討していきたい。

(要望)

生徒の意見を重視し、よい制服にしてもらいたい。

(質問)

夏場の制服についてはどのように考えているのか。

(答弁)

ジャケットでは暑いため、制服ではないものを着用することを考えており、今後、具体的な検討を進めていく。

(質問)

統合新設校の校則について、どのように考えているのか。

(答弁)

必要最低限の校則を制定した上で、開校後に生徒の意見を聞きながら一緒に作り上げていきたいと考えている。

**教育委員会終了
閉会**

10時43分

10時43分